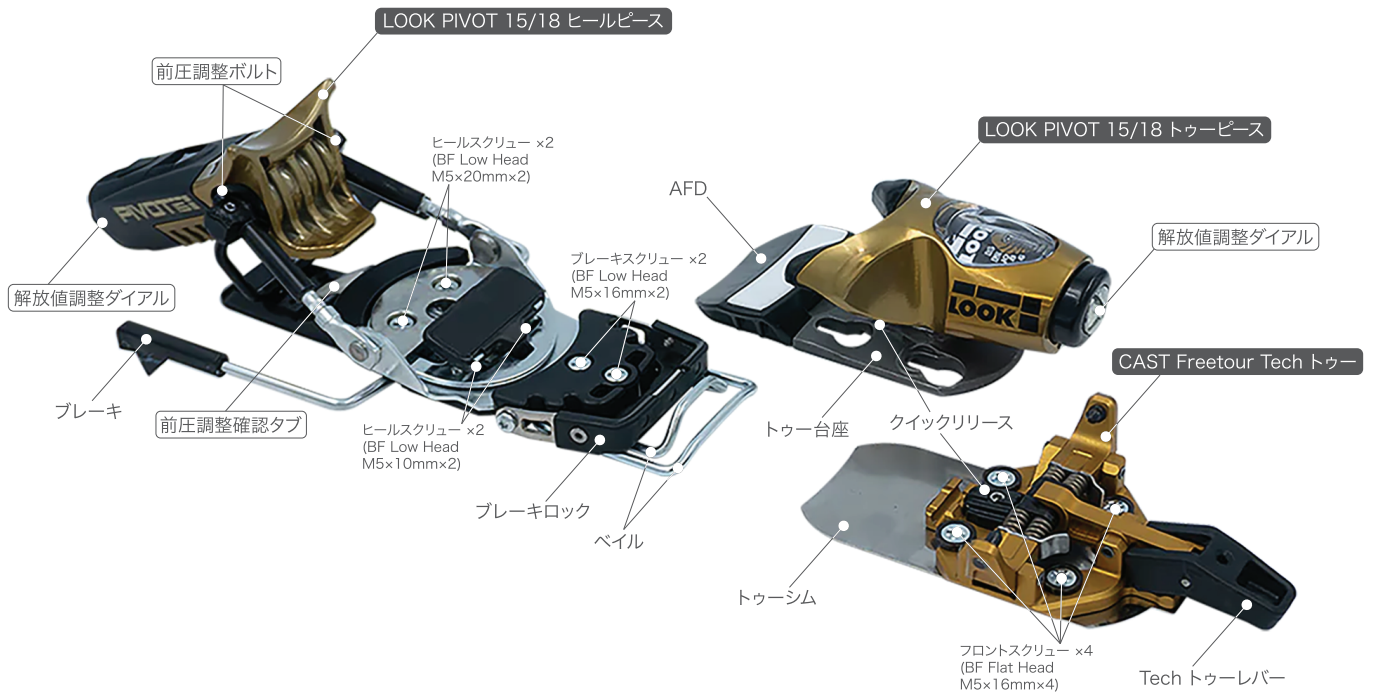


# CAST Freetour 1.0 Manual



## - CAST Freetour 使用上の注意点 -

・CAST Freetour Tech トゥー、または LOOK PIVOT 15/18 トゥーピースは、使用していない方をバックパックに確実にしまい込んで携帯してください。

・トゥーピースを取り外すときは、トゥー台座、CAST Freetour Tech トゥー共に黒いクイックリリースをスライドして外してください。また、雪が付着している場合は一度ブラシで取り除いてから装着してください。

・トゥーピースを取り付けるときは、そのまま押し込み、カチッと音が鳴ってロックされたことを確認してください。

**\*CAST Freetour Tech トゥーがロックされない場合は、スプリングの横にある板バネがフロントスクリューと干渉している可能性があります。その場合は板バネを軽くペンチで曲げるか、ストックの先端などの硬いもので、前方からスプリング側に押し込んでください。**

・ウォークモードで使用するときは、Tech トゥーレバーを手前側に起こしてロックしてください。その際はレバーを起こし過ぎてレバーを固着させないように注意してください。通常は 2~3 ノッチで十分に固定されます。

・ウォークモードで使用するときは、ブレーキをロックしてください。ブレーキロックを起こして、指ではめ込むか、そのまま踏み込んでください。

・ウォークモードで斜面を登るときは、斜度に合わせてベイルを上げてサポートしてください。短いベイルは 8°、長いベイルで 12.5° の補助を得ることができます。

・ブレーキロックを解除するときは、ブレーキの先端を握って板の内側に押し込むか、ヒールピースのターンテーブルを回してして解除してください。ブレーキロックを確実に前方（スキーのノーズ側）へ倒し、ベイルをロックしてください。

## - CAST Freetour 調整、メンテナンスの注意点 -

・4本のフロントスクリューは原則的に増し締めしないでください。適正トルクは 4.5~5.0Nm となります。ただし、インストラクターや正規販売代理店が遠方の場合で、使用に伴ってスクリューが緩んでしまい、至急調整が必要な場合に限り、以下に調整方法を記しますので、適正な工具を用いて自己責任にて行ってください。

・トゥー台座は鋳物の為、若干の個体差があります。左右に僅かなガタつきがある場合（この状態で正常です）、実際にブーツを取り付けますと、前方に押され、構造的に左右のガタつきはなくなります。上下のガタつきがある場合のみ、以下の手順を行ってください。

1. LOOK PIVOT 15/18 トゥーピースを取り付けた状態で、4本のフロントスクリューをポジドライブ #3 のドライバーで時計回りに回して締め込みます。適正トルクは 4.5~5.0Nm となります。トルクレンチ、トルクドライバーがお手元に無い場合は一般成人男性でドライバーを少しだけ回して手を開く動作を繰り返して回すとやがてドライバーが回らなくなり、5.0Nm 程度のトルクを掛けることができます。

2. その状態でクイックリリースをスライドして LOOK PIVOT 15/18 トゥーピースを抜こうとしても抜けない場合が殆どです。抜けない場合は、ナイロンハンマーを使うか、木を当てがって、クイックリリースを片手の親指でスライドした状態で LOOK PIVOT 15/18 トゥーピース の前方から後方に叩き出します。この際にクイックリリースを指で押さえながらスライドした状態で叩き出さないと、トゥーシムの突起を破損させてしまいますので、お気を付けください。

3. 再度、LOOK PIVOT 15/18 トゥーピースを取り付けます。滑らかに脱着が出来るようになるまで、脱着を繰り返します。

4. CAST Freetour Tech トゥーも脱着して確認を行います。

#### - LOOK PIVOT 15/18 調整方法 -

\*以下の手順はご使用されるブーツを変えるたびに行わなくてはなりません。

1. 適正なソールサイズでビンディングを取り付け、該当するソールサイズのブーツをビンディングに取り付けます。

2. 前圧調整確認タブ (白) とヒールピースのマウント上の突起 (黒) の位置を確認します。

3-1. 前圧調整確認タブ (白) がヒールピースのマウント上の突起 (黒) をに届かず前方にある場合、前圧が緩すぎます。前圧調整ボルトのシルバーの箇所に刻まれた目印を頼りに、前圧調整ボルトをポジドライブ #3 のドライバーで左右均等に時計回りに回し、前圧調整確認タブ (白) の後端がヒールピースのマウント上の突起 (黒) と概ね並ぶまで調整を行います。また、ブーツのヒール側のコバと隙間が限りなく無くなる状態を確認します。

3-2. 前圧調整確認タブ (白) がヒールピースのマウント上の突起 (黒) を超えて後方にある場合、前圧がきつすぎます。前圧調整ボルトのシルバーの箇所に刻まれた目印を頼りに、前圧調整ボルトをポジドライブ #3 のドライバーで左右均等に反時計回りに回し、前圧調整確認タブ (白) の後端がヒールピースのマウント上の突起 (黒) と概ね並ぶまで調整を行います。また、ブーツのヒール側のコバと隙間が限りなく無く

無くなる状態を確認します。

\*一部の Tech ブーツでは前圧調整ボルトをいくら締め込んでも、前圧調整確認タブ (白) の後端がヒールピースのマウント上の突起 (黒) と概ね並ぶに、マウント上の突起 (黒) の若干前方より後ろへ来ない場合があります。その場合は後述ステップ 7 の調整を慎重に行ってください。

4. LOOK PIVOT 15/18 トゥーピースの解放値調整ダイヤルをポジドライブ #3 のドライバー、フィリップス (プラス) #3 のドライバーまたは適したサイズのマイナスドライバーで回して任意の開放値を設定します。

5. LOOK PIVOT 15/18 ヒールピースの解放値調整ダイヤルを適したサイズのマイナスドライバー、またはコインドライバーで回して任意の開放値を設定します。

6. 一度ブーツを外し、再度取り付けます。AFD とソールに大きな隙間が無いか確認します。

7. ブーツをビンディングに取り付けた状態で LOOK PIVOT 15/18 ヒールピースをしっかりと握り、思いっきり捻ったり、左右に回す動作を行います。その際に簡単にブーツが抜けてしまう (解放されてしまう) 状態は前圧が緩すぎます。前圧調整ボルトを左右均等に時計回りに回し前圧をきつめます。逆にブーツが抜ずに (解放されない) 状態は概ね前圧調整は行えていると考えられますが、LOOK PIVOT 15/18 ヒールピースに力を加えた際に、前後に若干動く余地があるか確認を行います。全く動かない状態は前圧がきつすぎます。前圧調整ボルトを左右均等に反時計回りに回し前圧を緩めます。前圧を締め過ぎますと、ブーツが解放されない状態になり非常に危険です。くれぐれも、前圧調整は適正かつ慎重に行ってください。

- ブレーキロックをペイルを起こした状態 (クライムサポート) で使用している最中に突如解除されてしまう問題への対処法 -

1. ブレーキをロックした状態にします。

2. ブレーキロックの付け根の稼働部のビスをトルクス T20 ドライバーを使って締め込みます。過度の締め込みは禁物です。

3. ブレーキロックと解除の動作を繰り返し、動作を確認します。

## - LOOK PIVOT 15 / 18 トゥーピースのオリジナルの状態への復元に関して -

(オリジナルの状態での LOOK PIVOT 15/18 単体でご使用の予定がない場合は読み飛ばしてください)

・取外しましたオリジナルの LOOK PIVOT 15/18 の台座は、当社でインストールされた場合は返送時に同梱しています。また、ご自分でインストールされた場合はお手元にあることかと思われます。今後、もし LOOK PIVOT 15/18 単体でご使用される事がありましたら、組換えの手順・詳細は同梱されています CAST Freetour の説明書にあります。英語での説明となりますので、日本語で記しておきます。

### ・分解

1. LOOK PIVOT 15/18 トゥーピースの解放値調整ダイヤルをポジドライブ #3 のドライバー、フィリップス (プラス) #3 のドライバーまたは適したサイズのマイナスドライバーで反時計回りにダイヤルが抜け切るまで回して分解します。

2. 前方から、LOOK PIVOT 15/18 トゥーピースの解放値調整ダイヤル、スプリングカバー (プラスチック製 / 黒)、ワッシャー (鉄製 / シルバー、通常はスプリングカバーの前方にへばり付いています)、スプリングが完全に取れ、トゥーピースのハウジング後方にトゥー台座の固定ボルト、バネワッシャー (鉄製 / シルバー / 四角、方向に注意!)、ハウジングの中にスプリングのステーワッシャー (プラスチック製 / 白、または黒、方向に注意!) が残った状態になります。

3. ハウジングの後方から斜めに下側に固定ボルト、台座、バネワッシャーを抜き取り、ハウジング内からステーワッシャーも抜き取り、トゥーピースが完全に分解されます。

### ・組立

4. オリジナルの LOOK PIVOT 15/18 トゥーピースの台座をハウジングにはめ込み (この際に、台座の稼働部にグリスが塗布されていなければなりません)、分解とは逆の手順でハウジングの後部から台座の固定ボルト、台座、台座の前方へバネワッシャー (方向に注意! 突起がある方が上になり、突起の折れている方がヒール側を向き、下の角の折れている方がトゥー側を向きます) を順に入れ込み、ハウジングの前方からステーワッシャー (方向に注意! 突起がある方がヒール側を向き、平らな方がスプリングと接します) を台座の固定ボルトに入れ込みます。

5. スプリングカバーに前圧解放値調整ダイヤルを入れ、逆さまにしてワッシャーとスプリングを入れ込みます。スプリングカバーの線がある方が上側、突起が出ている方が下側となり、ハウジングに入れ込み、LOOK PIVOT 15/18 トゥーピースの解放値調整ダイヤルを時計回りに回し台座の固定ボルトと締結します。

6. LOOK PIVOT 15/18 トゥーピースの解放値調整ダイヤルを回しながら、解放値を設定します。